

## 腸管出血性大腸菌 O157 による患者発生について（第 2 報）

- 1 平成 29 年 7 月 29 日（土）に、市内の医療機関において、入院患者 2 名について腸管出血性大腸菌感染症の届出があった件で、本日 30 日、調査中であった入院患者 8 名のうち、新たに 4 名の腸管出血性大腸菌感染症の届出がありました。
- 2 この 4 名のうち、1 名（80 歳代男性）が腸管出血性大腸菌感染症による基礎疾患の悪化のため、本日朝に死亡したとのこと。
- 3 また、本日新たに血便の症状を呈する入院患者 1 名が発生しており、現在調査中です。
- 4 有症者 9 名の容体は、安定又は快方に向かっています。
- 5 札幌市保健所では、全患者の検便等、医療機関への対策指示を強化しました。また、原因究明のため、引き続き調査を行います。